

第6学年 社会科学学習指導案

1 単元名 江戸幕府と政治の安定

2 単元について

本単元は、学習指導要領第6学年の内容(2)「我が国の歴史上の主な事象について、学習問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。」のア(知識及び技能)の(キ)

「江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解すること」と(シ)「遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること」、イ(思考力、判断力、表現力等)の(ア)「世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること」を受けて扱うものである。

本単元では、江戸時代の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解することをねらいとする。そこで、「なぜ江戸幕府が264年間という長い期間続いたのか」を、単元を貫く学習問題として設定する。幕府が大名や百姓、町人に対してどのような意図をもって、どのような政策を行ったのか、外国や宗教とどのように関わっていたのか、江戸時代に生きる人々はどのような生活をしてきたのかを調べ考察することを通して、単元を貫く学習問題を解決する力を付けていきたい。そのために、幕府のそれぞれの政策がもつ意味や江戸時代の社会の様子を読み取らせていく。「大名配置の工夫や武家諸法度の制定、日光東照宮や江戸城の建設」が幕府による大名の統制に役立ったことや徳川家が大きな権力をもっていたことの理解に繋がるようにし、身分制については、人々が身分に応じてどのようにくらししていたのかを考えられるようにする。鎖国については、キリスト教が禁止されたことの意味とあわせて、鎖国のもとにおける我が国と外国との関係についても捉えられるようにする。

児童はこれまでに、「貴族のくらし」の単元では、藤原氏が栄えていたころに貴族がどのような生活を送っていてどのような文化が生まれたのかを資料から調べ、プレゼンテーションソフトでまとめたり、「武士の世の中へ」の単元では、源頼朝、義経の働きによって武士による政治が始まり、ご恩と奉公による主従関係により統率したが、元寇により力を弱めたことなど、鎌倉時代の始まりから衰退までの一連の流れを4コマ漫画でまとめたりすることができた。「貴族の暮らし」の学習では、貴族や貴族に従事する人々の生活や文化を調べ、「武士の世の中」の学習では、将軍と御家人の思いや関係を調べてきた。どちらも世の中の為政者側の立場であり、この時代に生きる被治者の気持ちに迫ったことはない。

そこで、本単元では統治者である江戸幕府が行った政策にはどのような意図があったのか、それらの政策に対して被治者である大名や百姓はどのように受け止めていたのかを考察することで、歴史的事象を多角的に捉える社会的な見方・考え方を養っていきけるようにしたい。学習のまとめでは、学習問題である「なぜ江戸幕府が264年間という長い期間続いたのか」を資料で読み取ったことや考察したことなど、根拠をもとに説明できることを目標とする。その際、「統治者である江戸幕府が被治者である大名や百姓を厳しい支配によって統治していたから」という否定的な考えだけではなく、幕府が軽重つけて統治していたことや身分に応じて人々は生活を豊かにしようと努めていたことなど肯定的な面にも目を向けさせたい。統治者の厳しい統制がある中でも、様々な身分の人々が、身分に応じて生活を豊かにしようと努めていたことが社会の安定、そして武士の政治の安定へとつながっていったことを理解させたい。

3 児童の実態

①社会科の学習（歴史）は好きですか。

とても好き	好き	あまり好きではない	好きではない
33%	60%	6%	0%
〈主な理由〉 ・昔の人物や生活について知れるから。 ・人と人との関係を調べるのが楽しいから。 ・時代によって様々なことが変わっていくのが面白いから。		〈主な理由〉 ・歴史上の人物の名前を覚えるのが難しい。	

②歴史を学習するのはなぜだと思いますか。（自由記述）

<ul style="list-style-type: none"> ・昔のことを学ぶことは、今や未来にもつながるから。（温故知新） ・昔の人の考えや生活が知れるから。 ・日本人として、日本の歴史を知るべき。 ・今当たり前にある生活が、いつからそうなったかを理解するため。
--

③歴史学習で、様々な人の立場から事象（出来事）を考えるのは大切だと思いますか。

とても思う	思う	あまり思わない	思わない
54%	45%	0%	0%
〈主な理由〉 ・いろいろな立場で物事を見ると、別の見方で新しいことが知れるから。 ・立場によって感じ方は違うので、1つの立場だけでは分からないことがあるから。 ・当時の人の気持ちを考えると、より考えが深まるから。 ・より歴史が好きになる。			

④歴史学習で、様々な人の立場から事象（出来事）を考えるのは得意ですか。

とても思う	思う	あまり思わない	思わない
21%	39%	39%	0%

⑤歴史学習で、資料を読み取るのは得意ですか。

得意	どちらかといえば得意	どちらかといえば苦手	苦手
21%	51%	24%	3%

⑥友達に自分の意見を伝えるのは得意ですか。

得意	どちらかといえば得意	どちらかといえば苦手	苦手
21%	51%	24%	3%

⑦ギガタブレットの使用は慣れましたか。

とても慣れた	慣れた	あまり慣れていない	慣れていない
51%	39%	9%	0%

⑧ギガタブレットを学習で使う良さはなんだと思いますか。(自由記述)

- ・自分や友達の意見が共有できる。
- ・具体的な写真やデータを使って分かりやすく発表ができる。
- ・分からないことを調べることができる。
- ・まとめやすい。(スライドショーなど)

【考察】

本学級では、歴史学習に対して前向きに取り組んでいる児童が多い。歴史学習を「昔の人や生活について知ることが楽しい」と好意的に感じたり、「昔を知ることは今や未来にもいかせる」と価値を見出したりしている児童が多いことが回答から伺えた。一方で、歴史上の人物の名前や功績、歴史の流れを理解することに難しさを感じる児童もいた。既に学習した歴史上の人物の名前や行ったことを再確認する時間を定期的にとり、知識を整理して定着させていく必要がある。

学級の全員の児童が、歴史的事象を様々な立場から多角的に考察することは、「新しい側面が見える」ことや、「より考えが深まる」ことから重要であると考えている一方で、3分の1の児童がそのような考察をするに苦手意識をもっている。そのことは、質問⑤の資料の読み取りへの苦手意識に大きく関係していると考えられる。資料から適切に情報を読み取ることができず、そのため、読み取ったことを考察したりまとめたりする活動までは十分に迫れていない。資料と資料を対比させながら様々な側面に気付けるような手立てが必要である。

また、新しく導入された GIGA タブレットに関しては、学級の大多数の児童が操作に慣れていると回答し、日々の使用の様子からも操作に抵抗を感じている児童は少ないと感じる。これまでの学習でも、インターネットを使って調べたことをプレゼンテーションソフトでまとめて発表したり、考察したことを互いに発信し合ったりする活動も行ってきた。GIGA タブレットを学習で使用するの良さとしては、「多くの友達の意見が視覚的に分かる」ことや「自分の考えをわかりやすく説明できる」と回答している児童が多く、意見の共有の点で GIGA タブレットの使用に有用性を感じていることがわかる。

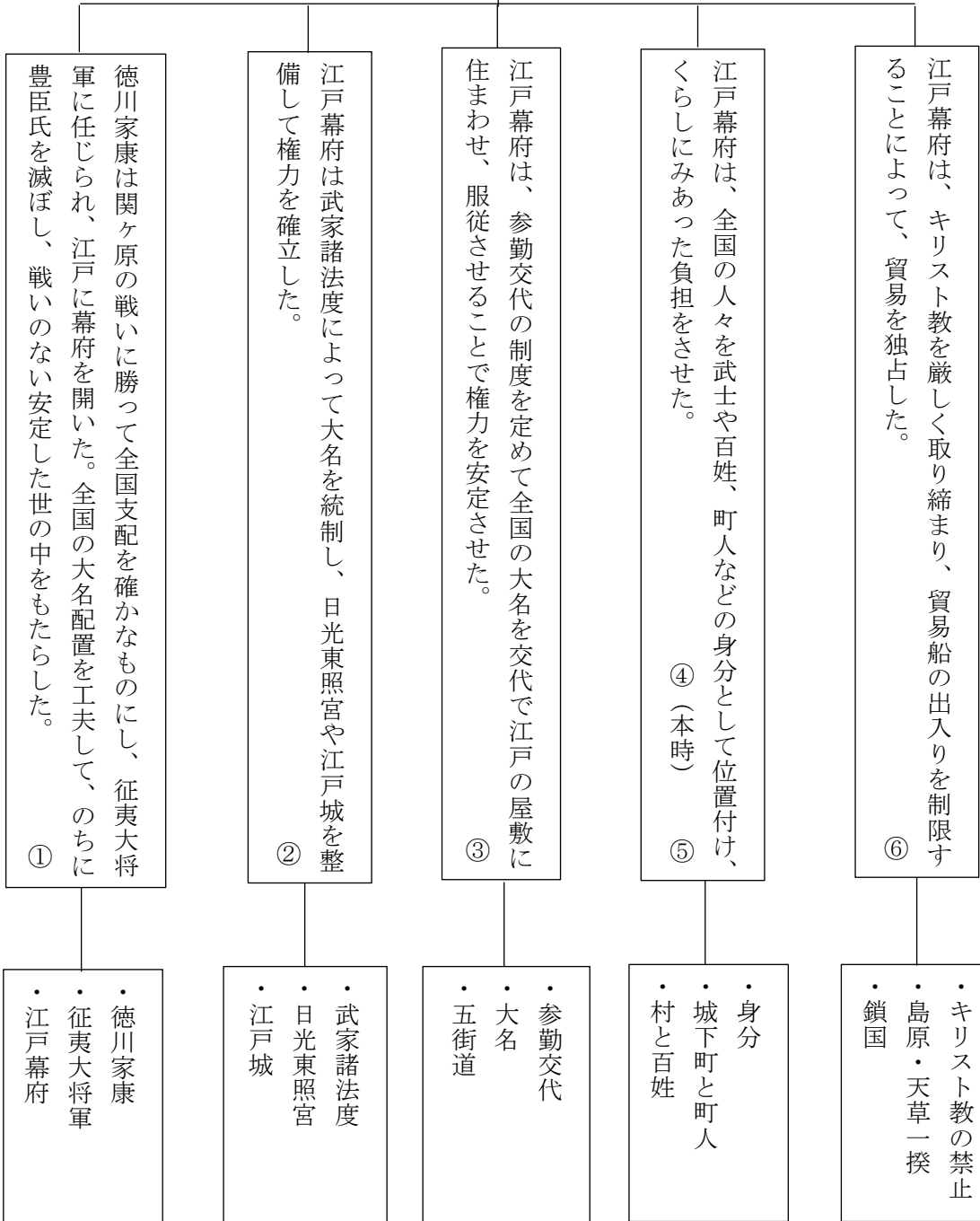
そこで、本小単元では、歴史的事象を様々な立場から考察することで、多角的なものを見方を養っていく。学習の中で、「幕府」「大名」「百姓」「町人」の立場で考えさせる場面を設定し、江戸幕府がどんな意図をもって政策を行っていたのか、大名や百姓、町人は幕府の政策や江戸時代をどう捉えていたのかを資料を根拠に思考させていく。その際には、当時の統治者の意図や被治者の思いが考察しやすい資料を精選する。また、児童が資料から読み取ったことや考察したことを共有する際に、GIGA タブレットを積極的に活用していく。そのことにより、自分や友達が資料のどこに着目したのか、読み取ったことによりどんなことを考察したのかがより分かりやすく説明し合えるのではないかと考えている。

中心概念
(概念的知識)

徳川家康が開いた江戸幕府は、大名配置の工夫や武家諸法度により大名を統制し、参勤交代の制度や外交のあり方を定めて將軍権力を確立し、身分制に基づいて、武士による安定した政治を行うようになった。 ⑦⑧

まとめる

社会的事象 (具体的知識)



問題解決的な
学習の過程

つかむ

調べる

5 単元の目標

- 江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解するとともに、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、適切にまとめる技能を身に付ける。 【知識及び技能】
- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見だし、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、調べたことや考えたことを表現する。 【思考力, 判断力, 表現力等】
- 江戸幕府の政治について、当時の人々がどのように思っていたかを多角的な視点から考え、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 【学びに向かう力, 人間性等】

6 単元の評価規準

観 点	評 価 規 準
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ○世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を理解している。 ○調べたことをプレゼンテーションソフトや文などにまとめ、武士による政治が安定したことを理解している。
思考力, 判断力, 表現等	<ul style="list-style-type: none"> ○世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見だし、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について考え表現している。 ○江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を関連付けたり総合したりして、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、適切に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

7 単元の指導計画（8時間扱い）

過 程	時 間	主な学習活動と内容
つ か む	1	<ul style="list-style-type: none"> ○徳川家康が、どのようにして江戸幕府を開いたのか調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・秀吉の死後、関ヶ原の戦いで対立する大名を破り、全国支配を確かなものにした。 ・朝廷から征夷大將軍に任じられ、江戸に幕府を開いた。 ○江戸幕府はどれぐらい続いたのかを調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・資料集の年表からグラフを作成する。 ○グラフを見て、疑問点や感じたことから、学習問題をつくる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> なぜ、江戸幕府は264年間も続いたのだろうか。 </div> ○学習問題に対する予想を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・縄文時代は争いがなく長く続いたから、江戸時代も争いがなかったのではないか。 ・今までの支配者のように江戸時代も新たな国のしくみが整備されていたのではないか。 ○学習計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・江戸幕府は大名をどのように統制していたのか。

		<ul style="list-style-type: none"> 江戸時代は、どのような人たちが、どのような生活を送っていたのか。 江戸幕府はどのようにして外国とかわっていたのか。
調 べ る	2	<p>○徳川家光が、どのようにして江戸幕府を受け継ぎ、権力を確立したか調べ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 武家諸法度では、将軍が大名を統制するために様々な取り決めを行った。 日光東照宮は家光の権力を大名たちに見せつけるうえで大きな役割を果たした。 家光は江戸と江戸城の町を大幅に改修し、天下にふさわしい城下町を作った。 江戸幕府の仕組みは家光のころに確立し、安定した世の中をむかえた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>江戸幕府は武家諸法度によって大名を統制し、日光東照宮や江戸城、街道などを整備して権力を確立した。</p> </div>
	3	<p>○江戸幕府が全国の大名を従えるために、どのような仕組みを整えたかを調べ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 家光が将軍のころ、参勤交代の制度が整えられた。大名は自分の城と領地を持っていたが、1年おきに江戸の屋敷に住まわされ、将軍に服従の態度を示した。妻子は江戸での生活を強制された。 <p>○「大名」の立場から参勤交代を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 江戸への交通や江戸での生活などに、多くの費用がかかる。 さまざまな土木工事や労力の負担が大きい。 妻子が江戸にいるので逆らうことはできない。 <p>○江戸幕府が参勤交代をさせた理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大名に費用や労力をかけさせることで、反乱を起こす力がもてない。 全国の大名を従えようとした。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>江戸幕府は、参勤交代の制度を定めて全国の大名を交代で江戸の屋敷に住まわせ、服従させることで権力を安定させた。</p> </div>
本 時	4	<p>○「慶安御触書」を出した意図を「幕府」の視点から考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 農作業に専念させて、年貢を確実に納めさせたい。 武士と百姓の身分の違いを区別したい。 <p>○江戸時代の生活をどのように受け止めていたのか「百姓」の視点から考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 決まりごとが多くて厳しい。 新田開発により米の生産量が増えて余裕ができた。 農具の改良により作業が少し楽になった。 村で協力し、祭りをすることもできた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>江戸幕府は百姓に年貢や労役の負担をかけることで政治を安定させた。百姓は農具の改良や商品作物の栽培などで生活を豊かにしようと努めた。</p> </div>
	5	<p>○江戸時代の町人（職人・商人）・僧侶・公家の生活を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 武家地、寺や神社の地域、町人地など住むところが決められていた。 熙代勝覧を見ると町人が豊かな暮らしをしている。 「禁中並公家諸法度」という公家に対する制度も幕府は整備していった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>江戸幕府は全国の人々を様々な身分に位置づけ、それぞれに暮らしにみあった負担をさせた。</p> </div>

	6	<p>○島原・天草一揆が起きた背景や一揆後の幕府の政策を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州地方には圧政を敷いて百姓を苦しめる大名がいた。(圧政でなければ長く続いた。) ・一揆を起こす人の中には武家諸法度違反によって浪人になってしまった人がいることや、一揆発生後に武家諸法度を守り鎮圧に加勢しなかった大名がいることから、幕府による統制の強さを分かる。 ・一揆後、絵踏みを取り入れ、キリスト教を厳しく取り締まるようになった。 <p>○江戸幕府が鎖国をした理由を考え、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教が入ってくるのを防ぐため。 ・他の大名が貿易によって力を付けることを防ぎ、貿易の利益を独占したいから。 ・幕府の支配を安定させたいから。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>江戸幕府は百姓に年貢や労役の負担をかけることで政治を安定させた。百姓は農具の改良や新田開発などで生活を豊かにしようと努めた。</p> </div>
ま と め る	7	<p>○学習問題に対する自分の考えをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>江戸幕府は、大名配置の工夫や武家諸法度により大名を統制し、参勤交代や身分制、キリスト教の取りしまりなどを通して政治を安定させた。人々はそれぞれの身分に合わせて生活を豊かにしようと努めた。こうした結果、世の中が安定し江戸時代は長く続くことができた。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの調べたことや読み取った資料をもとに、学習問題に対する自分なりの答えを考え、プレゼンテーションソフトにまとめる。
	8	<p>○学習問題に対する自分の考えを発表する。</p>

8 市教研社会科研究主題解明のための方策

市教研社会科研究主題

変貌する未来を切り拓く社会科学習 ～手応えの発見につながる『深い学び』の探求～

〈本年度主題解明のための方策〉

研究内容1 「深い学び」に導く単元づくり
研究内容2 「深い学び」に導く授業づくり

本単元では、研究主題の中から次の点に留意して指導及び評価に取り組んでいきたい。

研究内容1 「深い学び」に導く単元づくり

本単元は、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことが理解できるようにすることがねらいである。

「つかむ」段階では、資料集の平安時代から現在（令和）までの年表から、各時代がどれだけの期間続いたのかが視覚的に理解できるグラフを作成し、比較することによって、徳川家による政治がいかに長く続いたのかを認識させる。その認識から「なぜ、江戸幕府は264年間も続いたのだろうか。」という単元を貫く学習問題を立て、既習の内容から予想をもたせていく。

「調べる」段階では、写真や図、地図、表などの各種資料を読み取る活動を取り入れ、江戸幕府による政

策のもつ意味とともに、さまざまな身分の人々がそれをどのように受け止めていたかについても考察を深めさせていきたい。はじめに、江戸幕府と大名のかかわりを取り上げる。江戸幕府が長く続いた理由として、全国の大名を統制できていたことに大きな理由があると考えられる。大名を統制していたことは、「大名配置を工夫していたこと」と「武家諸法度により主従関係を確立していたこと」から理解させていく。

「調べる」段階の中盤では、江戸時代の様々な身分の人々に焦点を当てる。本来では一時間扱いとなっているこの学習を江戸時代の人口のうち80%以上を占めていた「百姓」と「町人・商人・公家など」の二時間に分けて学習することにより、江戸時代の人々は身分に応じてどのようにくらししていたのかをより詳しく理解させていく。そのことにより、江戸幕府が身分に対してどのような意図でどのような政策を行っていたのか、人々は江戸時代の生活をどう捉えていたのかを考察し、単元を貫く学習問題を多角的に解決しようとすることができる。

「調べる」段階の最後には、「島原・天草一揆」を中心に取り上げる。これまでの学習を通して、児童の認識は、「江戸幕府は大名も百姓も上手に統制していた。」となっていることが予想される。そこで、「島原・天草一揆が起きた背景や意味」を様々な視点から考えさせていきたい。そこには、幕府の意に反して圧政を敷いた大名やそれに苦しむ百姓、武家諸法度に背いて浪人になった者、武家諸法度に従って介入することができなかった大名など、様々な立場の人の存在がある。また、幕府が行った鎖国についても同じように幕府やキリスト教徒、外国など、様々な立場から考えることができる。一揆や鎖国体制を様々な立場から考え、様々な側面を理解することで、歴史的事象を多角的に捉える力を養っていきたい。

「まとめる」段階では、学習したことを関連・総合することや友達と比較することを通して、単元のねらいである「武士による政治が安定したこと」をより深くとらえることができる。

研究内容2 「深い学び」に導く授業づくり

○歴史的事象との出会いや多角的に考えを深める教材の開発

本学級の児童は、歴史的事象を構成する人物や出来事を調べることに意欲的に取り組む姿が見られるが、それらを関連付けて考えたり、様々な側面を認識したりすることまでは迫っていない。そこで、本単元では、歴史的事象を統治者の立場だけではなく、被治者を含む様々な立場から考察させていく。多角的に考察したことを関連付けたり総合したりする活動を通して、歴史的事象を様々な視点から捉える力が身に付くと考える。

本時では、江戸時代の百姓はどのような生活を送っていたのかを調べて思考する中で、統治者である江戸幕府は被治者である百姓の生活を制限したり負担をかけたりすることで、身分制を確立し、政治を安定させたことを理解させる。百姓にかけられた負担としては、年貢や労役の存在、慶安御触書や五人組などの制度を取り上げる。また、児童の認識が、「江戸時代の百姓は負担をかけさせられて、厳しい生活を送っていた」という一つの理解の側面で終わることがないように、制限された生活の中でも、新田を開発したり農具を改良したりすることで米の生産量を増加させたことや、協力して祭りを行うなどの多少の余裕があったことにも触れて、江戸時代の人口の80%以上を占めていた百姓の生活がある程度は安定したことが、武士の政治の安定にも深くかかわっていることを認識させる。百姓の生活について調べる際には、千葉市にあった生実藩で江戸時代に祭りで使われていた道具や、唐箕や千石どおしなど新しく江戸時代に開発された農具を資料として使用する。自分たちの学区に近接する地域で実際に使用されていた教材と触れる中で、百姓の生活の実態に迫っていき、百姓が江戸時代の生活をどのように受け止めていたのかを考えていくことができる。

以上のように、歴史的事象を統治者側の視点だけではなく、被治者側の視点からも思考することで、単元の学習問題である「なぜ江戸幕府は264年間も続いたのか」に対して、より真に迫って解決することができると思う。

9 本時の指導（4／8）

(1) 本時の目標

○江戸幕府が百姓の生活を統制することにより政治を安定させたことや、江戸時代の百姓のくらしについて理解し、表現することができる。
 (思考力, 判断力, 表現力等)

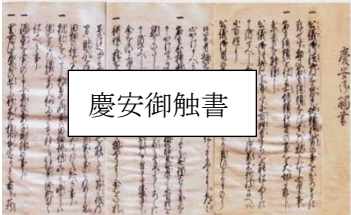
(2) 本時の展開

学習活動と内容	○教師の指導と支援 ◆評価	資料
<p>1 二つの資料から本時のめあてをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「慶安御触書」を読むと百姓の生活は厳しそうだ。 ・祭りをしていた様子がある。 ・苦しかったら祭りをする余裕はないのではないか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 江戸幕府はどのように百姓を統制していたのだろうか。その中で、百姓はどのように生活を豊かにしようとしていたのだろうか。 </div>	<p>○二つの相反する資料から疑問をもたせ、様々な立場から百姓の生活を調べていく必要がることを捉えさせる。</p>	<p>慶安御触書の一部 生実藩の祭り で使われていた道具</p>
<p>2 「慶安御触書」を出した幕府の意図を考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年貢を必ず納めさせるため。 ・武士と百姓の身分の違いを明確にしたかった。 	<p>○江戸幕府が百姓から年貢を納めさせるように生活を統制していたことや年貢以外にも労役があったことを捉えさせる。</p>	<p>慶安御触書 資料集 オクリンク</p>
<p>3 百姓の生活を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農具の改良により米の生産量が増えている。 ・村のみんなで協力して村のことをしていた。 ・千葉市でも改良された農具が使われていた。 ・千葉市でも祭りが行われていた。 	<p>○複数の資料を関連付けて考えるように助言する。</p> <p>○百姓は統制された生活の中でも、生活を豊かにしようとしていたことを捉えさせる。</p>	<p>「農業の様子」 米の生産量・田畑面積の変化のグラフ</p>
<p>4 百姓の気持ちを考えてふきだしに表し、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重い年貢や労役の負担があって苦しい。(赤) ・幕府に決められていることが多くて大変だ。(赤) ・農具が改良されて作業が楽になった。(青) ・米の生産量が増えて生活に余裕ができた。(青) ・生活は苦しいが、村で協力して祭りができるのは楽しい(緑) 	<p>○資料をもとに根拠をもって百姓の思いを考えるように伝える。</p> <p>○ふきだしの色を工夫し、百姓の生活を肯定的に捉えていたら青色に、百姓の生活を否定的に捉えていたら赤色に、どちらもいえない場合は緑色にして、比較しやすいようにする。</p>	<p>オクリンク 大型テレビ</p>
<p>5 本時の学習をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○江戸幕府は百姓に対して年貢や労役などの負担をかけることで政治を安定させた。</p> <p>○百姓は（農具の改良・新田開発・祭りをを行うなど村で協力することを通して）負担の中で生活を豊かにしようとした。</p> </div>	<p>○江戸幕府の政策と農民の生活の様子を関連付けて考えさせる。</p> <p>◆江戸幕府が百姓の生活を統制していたことや江戸時代の百姓のくらしについて理解し、表現している。</p>	


	〈発表・タブレット〉 (思・判・表)	
江戸幕府は百姓に年貢や労役の負担をかけることで政治を安定させた。百姓は農具の改良や新田開発などで生活を豊かにしようと努めた。		
6 次時の学習の見通しをもち、本時の振り返りをする。	○次時で武士と百姓以外の身分の人たちの生活について学習することを確認する。	江戸時代の身分別の人口の割合

10 板書計画


① 江戸幕府はどのように百姓を統制していたのだろうか。その中で、百姓はどのように生活を豊かにしようとしていたのだろうか。



幕府が定めた百姓の心得
+年貢
労役(土木工事・宿場の手伝い)



生実藩の祭り
着物、楽器、被り物
村の人々で協力していた



- ・新しい農具の開発
作業が楽に
- ・新しい田畑の開発
多くの米がとれる

② 百

- ・いろいろ決められていて苦しい
- ・生活が厳しくなりそう
- ・仕事が大変

③ 幕

- ①⑦→身分制を確立 百<幕
- ②→年貢を確実にとる
- ③~⑥→節約、生活の統制

④ ま

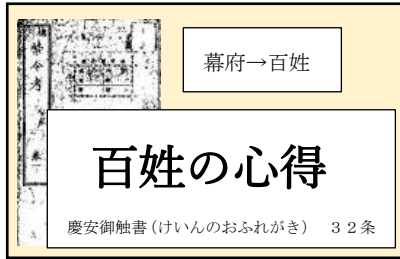
生活を豊かにする工夫

政治の安定

江戸幕府は百姓に年貢や労役の負担をかけることで政治を安定させた。百姓は(農具の改良や新田開発などで生活を豊かにしよう)と努めた。

1.1 GIGA タブレット オクリンク上の資料

①慶安御触書



①
幕府の決めたことは、
しっかり守りなさい。

②
五人組で連帯して作業を行い、
百姓が病気になったときは、
他の百姓が助けなさい。

③
朝は早く起きて草をかり、昼は
田畑を耕し、夜は縄やたわらをつくり、
気をぬかないで仕事をする事。

④
酒や茶を買って飲んで
はいけない。

⑤
麦やあわ、ひえ、菜、大根など
をつくって食べ、米を多く食べ
てはいけない。

⑥
着物は、麻や木綿以外の
ものを着てはいけない。

⑦
年貢さえおさめれば、百姓ほど
心安らかなものはない。子孫にも
これを伝えて、一生懸命働きなさい。

・きまりをつくっている幕府の方が百姓よりえらい
・「五人組」により監視させたり、年貢を確実に納めさせさせたりしようとしている
・百姓の子孫は百姓であるようにしている（身分制の確立）
・贅沢を制限して、農作業に集中させようとしている

②生実藩の祭りで使われていた道具



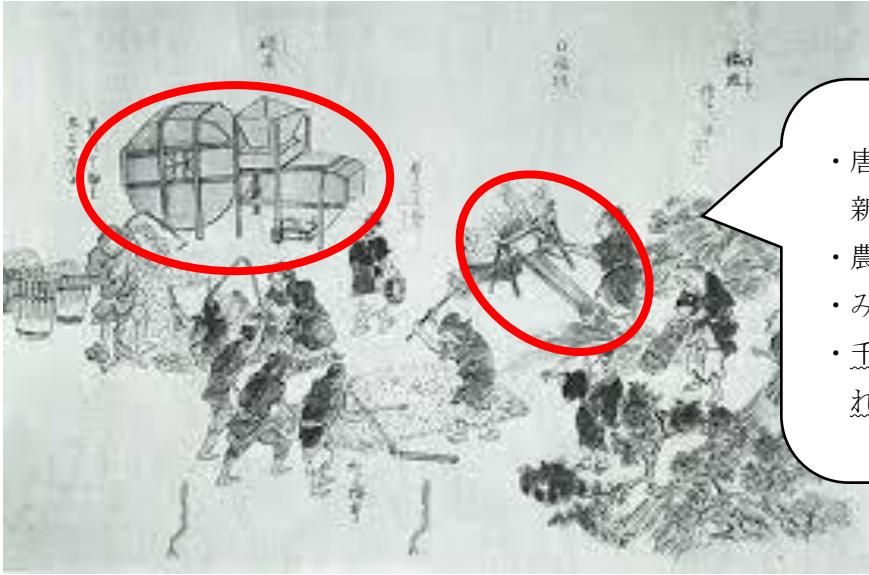
踊り子の着物

祭りの役割分担の記録

被り物
左：雄獅子
中：烏帽子
右：雌獅子

楽器
・拍子
・笛
・ささら（こすって音を出すもの）

③農作業の様子（資料集より）



- 唐箕、千歯こき、千石どおし など新しい農具が使われている。
- 農具の改良により農作業が楽になる
- みんなで協力して農作業をしている
- 千葉市の生実藩でも同じ農具が使われている。

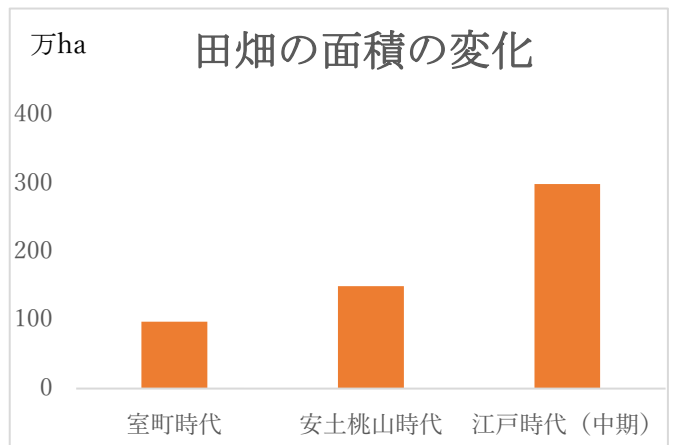
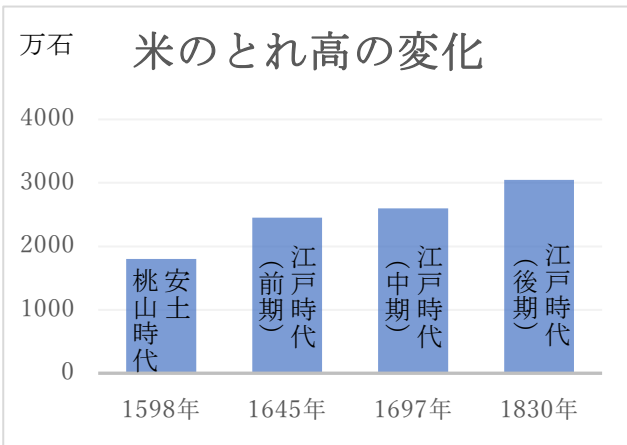
唐箕

千石どおし

生実藩で使われていた農具

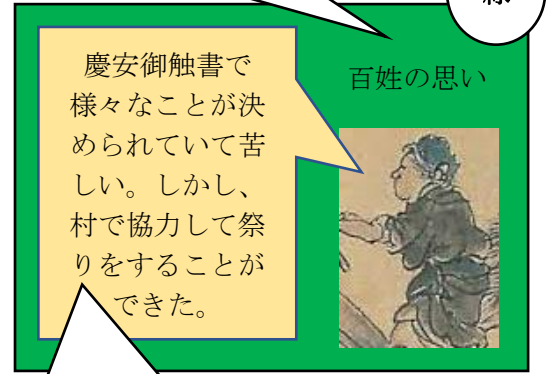
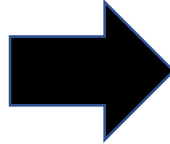


④農業の変化のグラフ（資料集より）



⑤百姓の思いのふきだし

赤：生活を否定的に捉えていた
青：生活を肯定的に捉えていた
緑：どちらともいえない



慶安御触書で
様々なことが決
められていて苦
しい。しかし、
村で協力して祭
りをすることが
できた。

百姓が江戸時代の生活をどのよう
に受け止めていたかを想像して、
ふきだしをかく。